

# 「ホワイト物流」推進運動セミナー

ステークホルダーとの相互理解 と 運転手ファースト



「ホワイト物流」  
推進運動



もろかわ運送(株)

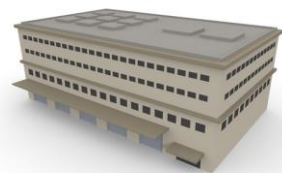


# 1, もりか運送の事業内容

# 会社概要

会社名 もりか運送株式会社  
創業 昭和11年  
設立 昭和26年  
資本金 2500万円  
所在地 大阪府大阪市淀川区西中島7丁目1番26号  
事業内容 一般貨物運送事業

物流拠点  
3



トラック  
約150台



従業員  
約190名



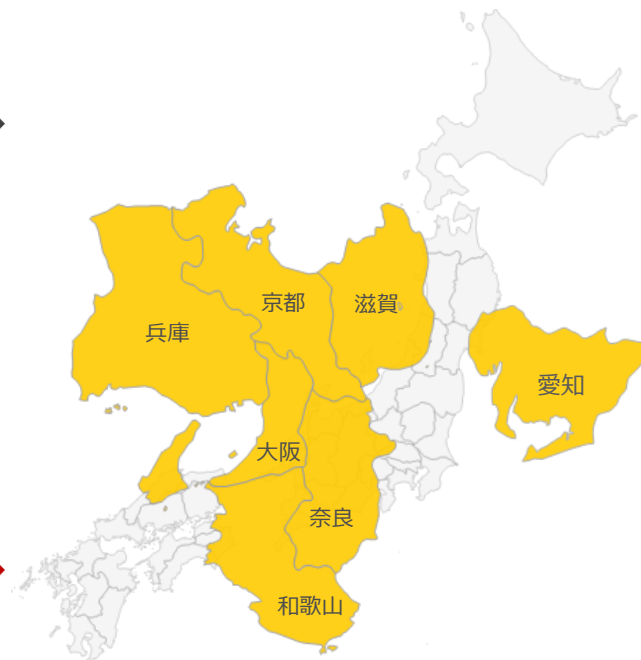
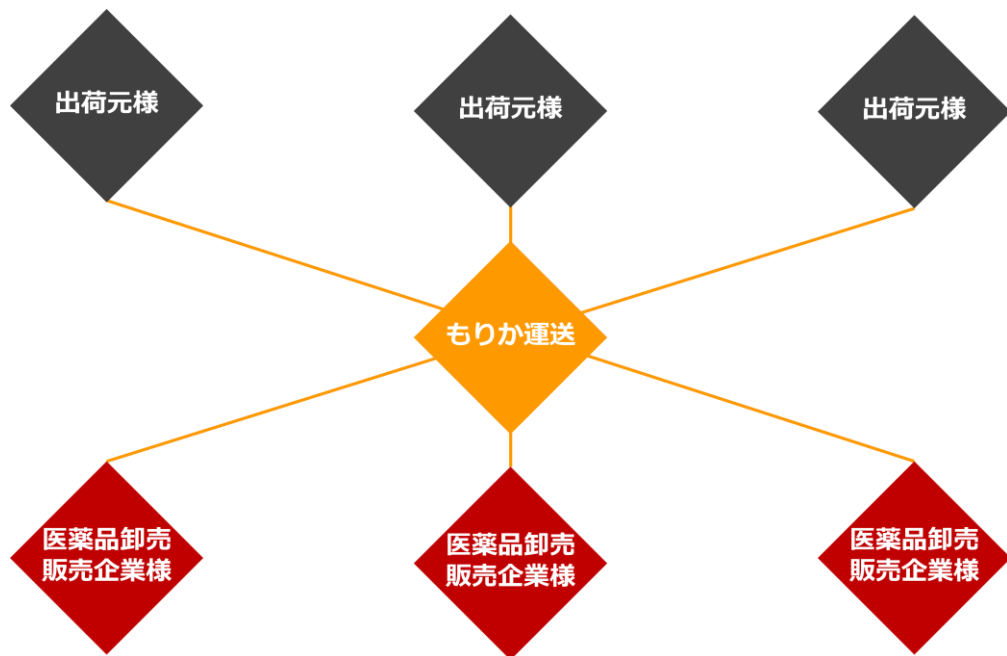
わたしたちは健康を運んでいます。



# もりか運送の大口共同配送

## 【 大口共同配送 】

お客様から預かった医薬品を大阪府茨木市、兵庫県神戸市の拠点に集約、翌日に大型トラックや4tトラックに積込み、パレットやカゴテナーを利用して、近畿エリア・中部エリアの医薬品卸売企業様のメガセンターへ医薬品を配達します。



## 【 医薬品専用車両 】

- ・輸送モード  
(保冷) +2℃～+8℃  
(常温) +15℃～+25℃  
(成行) 温度管理無し
- ・配送個数  
1日平均 約50000ケース
- ・配送トン数  
1日平均 約250トン
- ・ケース単位事故発生率  
5PPM以下を目標値に設定

# もりか運送の共同配送物流拠点

## 大阪営業所（大阪府茨木市）

ドックシェルター直結 15℃～25℃ 常温庫  
ドックシェルター直結 2℃～8℃ 保冷库  
静脈認証付き貴重品保管庫



## 神戸営業所（兵庫県神戸市須磨区）

15℃～25℃ 常温庫  
2℃～8℃ 保冷库  
施錠管理付き貴重品保管庫



# 医薬品の適性流通（GDP）ガイドラインに準拠

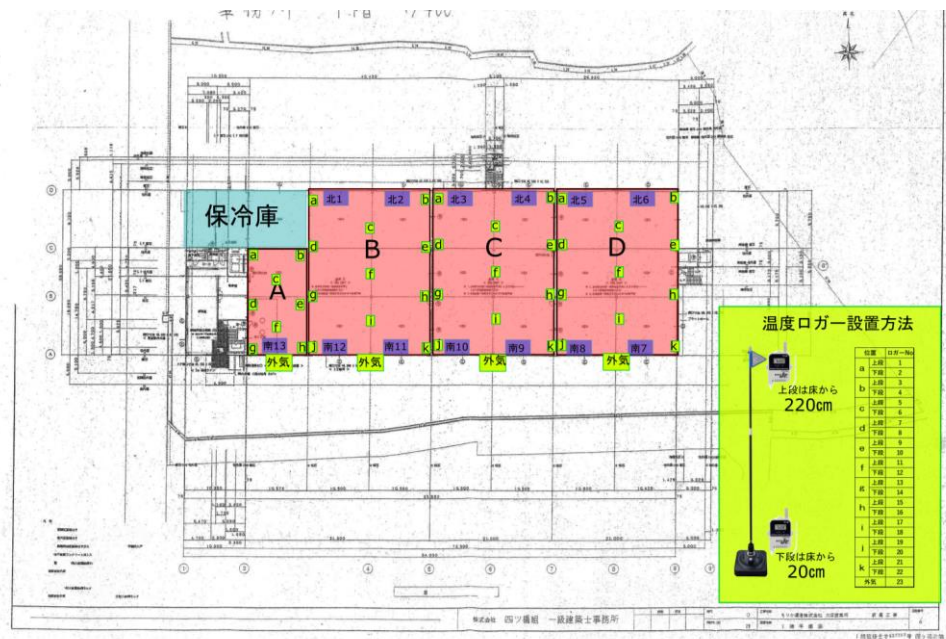
温度管理（+2℃～+8℃の保冷库、+15℃～+25℃の常温庫）、温度モニタリングと逸脱時のアラーム、防犯カメラ、施錠管理、防虫防鼠 等

※ 温度モニタリング機器は定期的に温度校正を実施

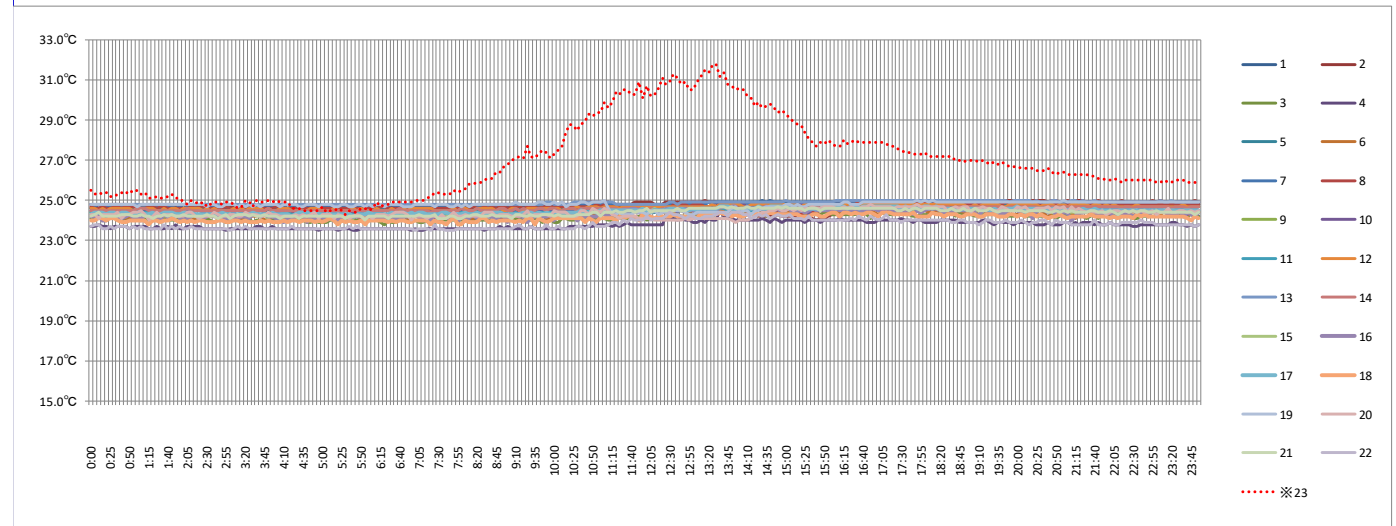
## 参考資料

【大阪営業所 常温帯（+15℃～+25℃）マッピング計画】

【マッピングデータ】



各ポイント	コールドポイント		ホットポイント	
	位置は4	値は23.8℃	位置は13	値は24.9℃



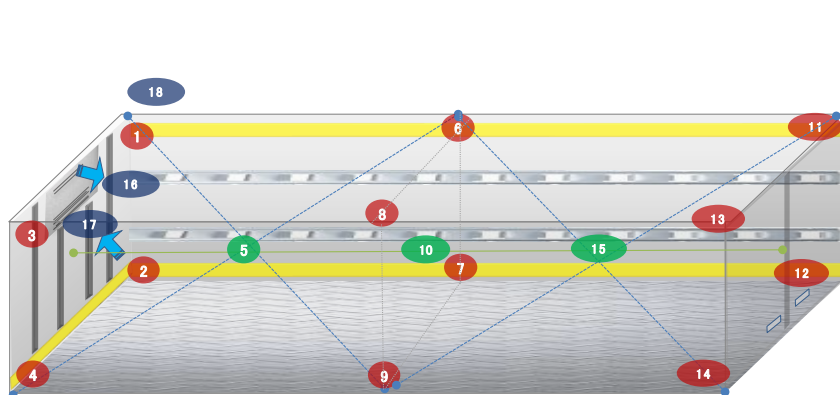
# 医薬品の適性流通（GDP）ガイドラインに準拠

温度管理（+2℃～+8℃の保冷輸送、+15℃～+25℃の輸送）、温度モニタリングと逸脱時のアラーム、施錠管理、GPS管理 等

※ 温度モニタリング機器は定期的に温度校正を実施

## 参考資料

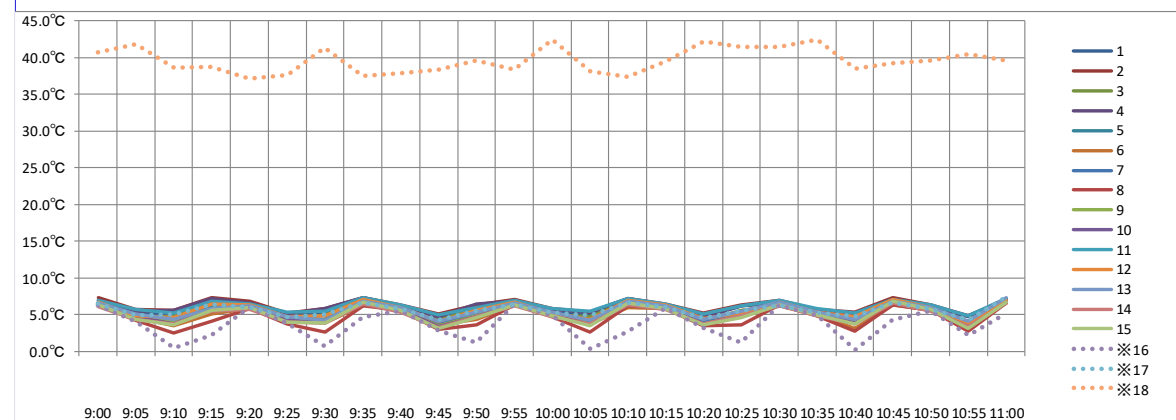
### 【大型トラック 保冷帯（+2℃～+8℃）マッピング計画】



番号	位置
1	前右上
2	前右下
3	前左上
4	前左下
5	前中央
6	中右上
7	中右下
8	中左上
9	中左下
10	中中央
11	後右上
12	後右下
13	後左上
14	後左下
15	後中央
※ 16	吹出し口
※ 17	吸込み口
※ 18	外気

### 【マッピングデータ】

2023年	夏季	大阪800か4425		+5℃設定 (+2℃～+8℃管理)	大型 一層
各ポイント	コールドポイント		ホットポイント		
	位置は8	値は4.7℃	位置は2	値は6.3℃	



# トラックの動態管理 (デジタルタコグラフ)

1日の拘束・運転・休憩時間の管理、速度超過・急ブレーキ・ふらつきによるアラーム、日報の自動印刷、各種センサーによる運転評価、燃費管理等

## 参考資料 【PC管理画面】

The screenshot displays a PC management interface for truck fleet monitoring. It features a map of the Kinki region in Japan with several vehicle locations marked. A central pop-up window shows detailed information for a specific vehicle (神戸800L3466) and its driver (もりか 運送). The information includes the vehicle's status (idle), location (Mitsui Bussan Kaisha), and various sensor readings like temperature (8.0°C) and engine status. On the left, there are navigation and search tools, and a list of vehicles with their IDs and statuses.

## 【自動日報印刷】

The screenshot shows the automatic daily report printing interface. It includes a summary table at the top and a detailed log below. The summary table provides an overview of the day's operations, including total mileage, fuel consumption, and driver information. The detailed log shows a timeline of the driver's activities, with various data points and charts for speed, engine status, and other metrics. The interface is designed for easy review and printing of the daily report.

項目	内容	単位	合計
総走行距離	303	km	303
燃料消費量	105.2	L	105.2
平均燃費	2.86	L/km	2.86
走行時間	11:24	時間	11:24
休憩時間	0:00	時間	0:00
停止時間	0:00	時間	0:00
合計	11:24	時間	11:24





## 2, 2024年問題の対応状況

# 物流の2024年問題

2024年4月からトラック運転手の時間外労働の960時間上限規制と改正改善基準告示が適用、運転手の労働時間が短くなることで輸送能力が不足し「モノが運べなくなる」可能性がある

もりか運送は、5年の猶予期間中に年間時間外労働上限960時間は対応済み

## 働き方改革関連法

年次有給休暇の確実な取得

2019年4月

月60時間超残業による割増賃金率引き上げ

2020年4月

2023年4月

2024年4月

運転手以外の時間外労働上限の適用

運転手の時間外労働上限960時間の適用

運転手の改正改善基準告示の適用

# 改正改善基準告示（令和4年12月23日に改正、令和6年4月1日から適用）

## 改善基準告示の内容

令和6年4月～適用

トラック運転者の改善基準告示が改正されます！

自動車運転者の労働時間等の基準が改正されます

1年の拘束時間	1か月の拘束時間	1日の休息期間
改正前(年換算) 3,516時間	改正前(月換算) 原則:293時間 最大:320時間	改正前 継続8時間
改正後 原則:3,300時間 最大:3,400時間	改正後 原則:284時間 最大:310時間	改正後 継続11時間を基本とし、継続9時間

自動車運転の業務(ドライバー)に年960時間の上限規制が適用されます

厚生労働省 国土交通省

詳しい情報や相談窓口はこちら  
厚生省 改善基準告示 検索

詳しくは裏面へ

## 労使協定 サンプル

### (参考)1箇月及び1年の拘束時間の延長に関する協定書(例) (トラック運転者)

〇〇運輸株式会社代表取締役〇〇〇〇と〇〇運輸労働組合執行委員長〇〇〇〇(〇〇運輸株式会社労働者代表〇〇〇〇)は、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」第4条第1項第1号ただし書の規定に基づき、拘束時間に関し、下記のとおり協定する。

#### 記

- 1 本協定の適用対象者は、トラックの運転の業務に従事する者とする。
- 2 1箇月及び1年の拘束時間は下の表のとおりとする。なお、各月の起算日は1日とする。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
295時間	284時間	245時間	267時間	300時間	260時間	250時間	295時間	310時間	300時間	284時間	310時間	3,400時間

- 3 本協定の有効期間は、〇年4月1日から〇年3月31日までとする。
- 4 本協定に基づき1箇月及び1年の拘束時間を延長する場合においても、1箇月の時間外休日労働時間数が100時間未満となるよう努めるものとする。
- 5 本協定に定める事項について変更する必要がある場合には、14日前までに協議を行い、変更を行うものとする。

〇年〇月〇日

以上

〇〇運輸労働組合執行委員長 〇〇〇〇 印  
(〇〇運輸株式会社労働者代表 〇〇〇〇 印)

〇〇運輸株式会社代表取締役 〇〇〇〇 印

改正改善基準告示に対応する為には

## 全運転手の拘束時間を 1 日 1 時間短縮

### STEP,1 : 社内準備

- ・法令の正しい理解
- ・管理者へ法令の周知
- ・現状把握
- ・課題の洗い出し

その他

### STEP,2 : 社内業務改善

- ・有料道路の積極的な活用
- ・トラック出発時間の調整
- ・運転手・作業員の補充
- ・事業所内の動線見直し

その他

### STEP,3 : 取引先様と取組

- ・現状と課題報告
- ・法令遵守の為のご相談

---

# 3, ステークホルダーとの取組

# 納品先様専用パレットの借り受けした例

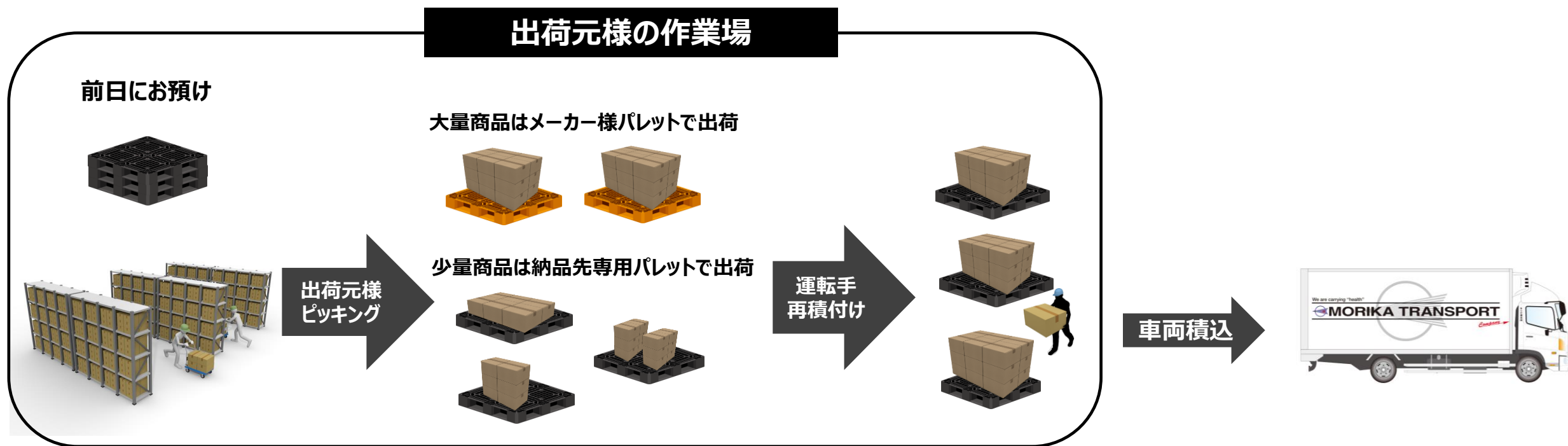


## 成果

配達時の荷降ろし作業時間短縮  
納品先様の不要パレット残留防止

ハンドリング回数減による事故発生率の軽減  
複数出荷元様の積み合わせによる積載率向上

# 大量出荷時に納品先専用パレットにて出荷していただいた例



## 成果

運転手の積み替え作業時間短縮  
出荷元様のパレット片付け作業軽減

出荷元様の作業場省スペース化  
出荷元様のパレット流出防止

# 物量増加時に、共同配送から翌日チャーター便へ切替えした例



取組前	出勤	配達					休憩	集荷準備			集荷先待機 (未集荷)					帰庫	退勤	休息					出勤可能時間							
	時間	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時
拘束・休息時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5



取組後	出勤	配達					休憩	集荷準備			他配送に割当			帰庫	退勤	休息					出勤	積込		配達				
	時間	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時
拘束・休息時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5

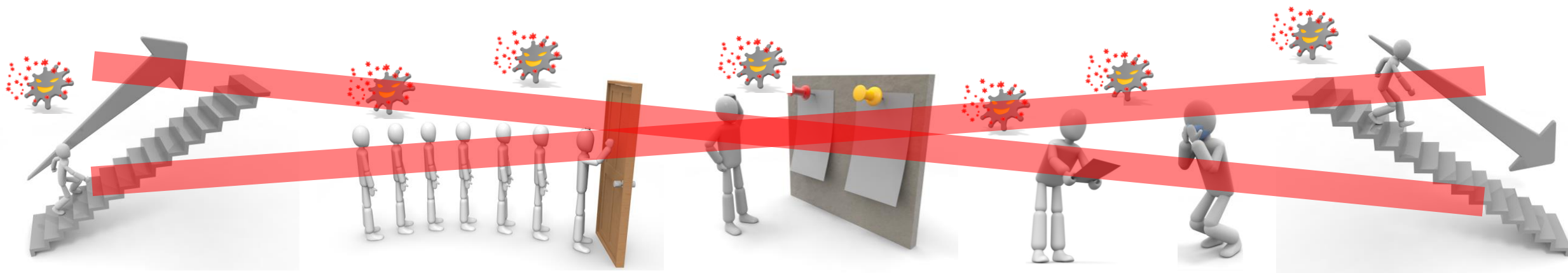
## 成果

運転手の 1日拘束時間限度の遵守  
納品先様へ通常時間に配達

集荷時の待機時間削減



# コロナ禍の感染予防が運転手の負担軽減になった例



## 【出荷元様と協力した内容】

・毎日入構する乗務員・トラックに専用入構証の発行

・送り状の受け渡し、提出書類等を集荷作業場で完結

## 成果

トラック乗降り回数の減少  
集荷作業の速やかな開始

出荷元様の敷地・建屋内の移動距離短縮

# 自社構内のフォークリフト使用を自社従業員に限定した例

労働安全衛生規則 第151条3第1項 に基づいて  
フォークリフトの使用には、作業計画の作成し、関係者  
へ周知することが必要

フォークリフトにはレバー操作が異なる機体があるので  
慣れない運転手を使用すると危険

「安全はすべてに優先する」という言葉の実践



## 成果

再委託先運転手の積み込み作業時間短縮  
労働安全衛生規則の遵守

労働災害事故の防止  
商品事故の防止

# もりか運送社内講習に再委託先が参加した例

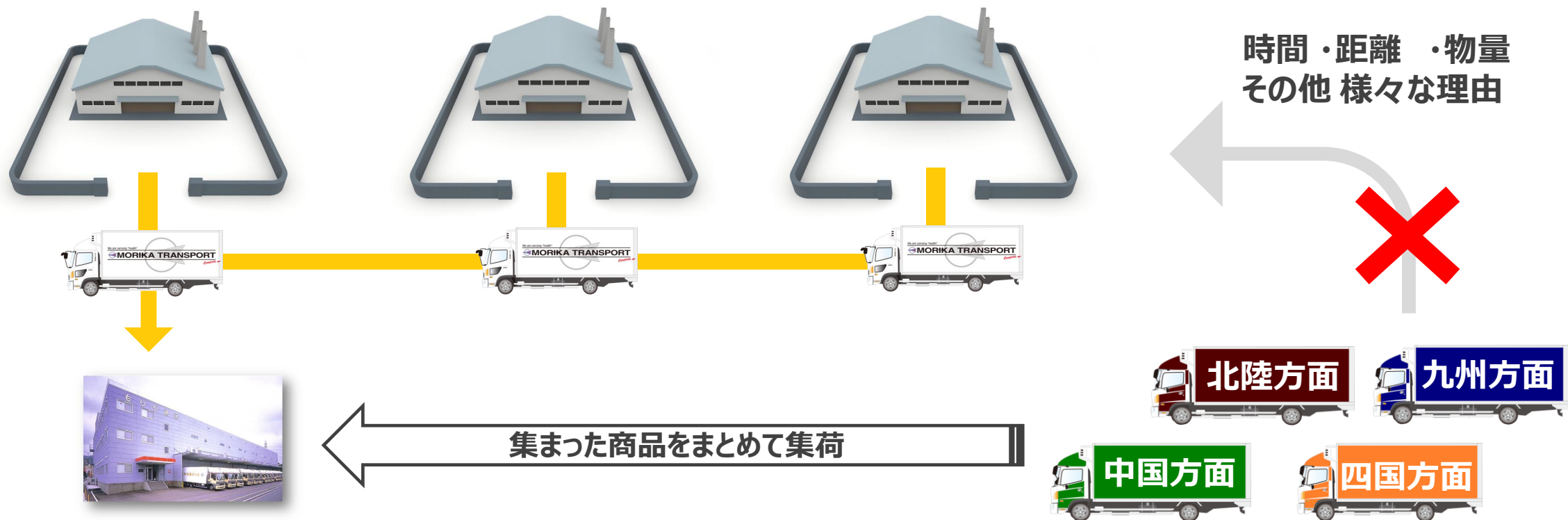


## 成果

再委託先管理者の事務負担軽減  
再委託先からの業務改善要望を収集

ノウハウ・注意喚起の共有  
輸送品質の統一

## 他運送事業者との集荷網共有



### 成果

少量・遠方・その他理由があっても、効率的な医薬品配送網のご提供が可能  
同運送事業者の運行時間削減、CO2排出量削減



# 4, 今後の課題

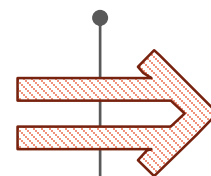
## 運送事業者にもこそDX化が必要、まずはFAXからメールへ

物流業界の末端では、まだまだFAXが現役稼働中なのでDX化には程遠い状態  
属人化からの解消・ペーパーレス化に向けて、先ずはメールオーダーへ切替え

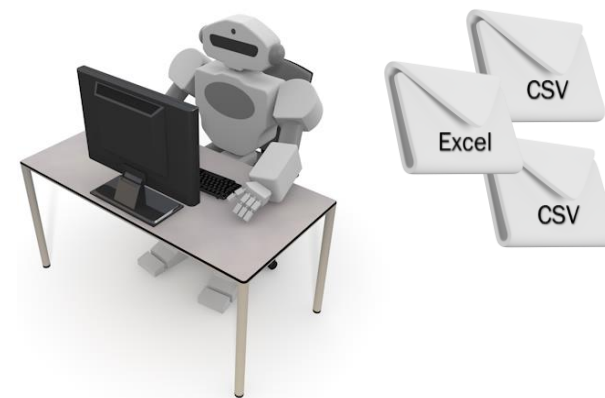
Faxオーダー  
約70%



メールオーダー  
約30%



RPA※移行  
を目標



※ RPA ロボティック・プロセス・オートメーション 人がパソコン上で日常的に行っている作業を、人が実行するのと同じかたちで自動化する、というものです

## トラック整備会社も人手不足が発生、トラックの法定点検に影響

作業時間が短い3ヶ月点検を少しでも平日へ移行させ、土曜日・日曜日に12ヶ月点検の枠を増加させる必要性がある  
数か月単位のスケジューリング、点検当日にトラック受け渡しが円滑に行えるよう準備

貨物を運ぶ為には点検済みのトラックが必要、整備会社様は重要なステークホルダー  
運送事業者が出荷元様や納品先様からご協力を得たように、次は運送事業者が協力する番です



3ヶ月毎の点検

※ 50項目 (所要時間3時間~4時間程度)

+

12ヶ月毎の点検 (車検)

※ 100項目 (所要時間6時間~8時間程度)

# もりか運送は今後もホワイト物流推進運動を継続

ステークホルダーと積極的に対話し「運べなくなる」の解決を目指します

効率的な配送によってCO2排出の削減を目指します

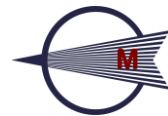
運転手が健康で働くことができる職場環境を目指します

安心・安全なトラック走行によって交通事故削減を目指します



---

ご視聴ありがとうございました



もりゅうか 運送(株)